

1月下旬というのに、赤と白のバラの花が華やかに咲いています。

場所は逗子駅金沢踏切近くにある「山の根トーテムポール広場」というポケットパーク。山の根自治会が市と県からの委託を受けて、雑草が生い茂っていた場所に公園を作ったのが15年程前です。公園の北側に4本植わっているバラの内、2本が昨年から冬でも秋のように花を咲かせるようになりました。

昨年は、一昨年の秋の始まりに襲ってきた台風の塩害で傷みつけられて、それ以後再生して晩秋から花が咲き始めて冬でも咲いているという訳がありましたが、今年はどうでしょうか。

昨年と同じように1月末になっても華やかに花を咲かせている(写真参照)のは同じですが、ちょっとわけが違うようです。昨年は15号、19号という超大型の台風が襲ってきましたが、これらの台風は風向きと雨を伴ったことから、一昨年のような大きな塩害を受けることはありませんでした。

バラの上には、近くにある大木が年毎に枝を張り出して、太陽が高く葉が茂る間は日陰になるようになりました。日が横から射すようになる秋口から日照を受け始め、葉が散る晩秋からは更に日照が良くなり、この日照環境の変化で、バラは秋口から成育をはじめ、晩秋の12月ごろから花が咲きだす条件が作られたのです。その上に暖冬が秋からでもバラの生育ができる環境を整えてくれています。

つまりは、バラの下に同時に咲いている水仙のように、バラたちは周りの環境に合わせて、巧みに生きていこうとしているようです。

花を觀賞するのにさらに良いことは、冬は病虫害がないこと、花期が長いことです。

春の生育環境をよくするためには、2月には剪定をしておかなければなりません。いつ剪定をしようかと迷うところです。

写真の右側の赤いバラはノックアウト、左側の白いバラはアイスバーグ(1月21日撮影)。

(山の根在住 鈴木 為 之)



編集後記

令和2年2月、東京オリンピックまであと半年。一方で巷では中国発の新型肺炎の脅威が叫ばれ、昨年の実体験から風水害、地震等の天変地異はと心配事が脳裏をよぎるが、事務局としては地域の問題解決は勿論だが、住みやすい地域、楽しいこともある地域を目指したい。例えば昨年ラグビーワールドカップで皆で大いに盛り上がった事に味を占めて、オリンピックや各種世界大会のパブリックビューイングを地域のスポーツ愛好家の知恵をお借りし、会館で実施し皆で盛り上がりたい。また、会館の大型画面で自分のお好みの映画を上映し、お茶とお菓子を食べながら語り合う映画とお茶会は・・・妄想は広がる。

石井達郎(事務局長)

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協ひろば

第34号(準備会から通算第55号)

発行日 令和2年2月1日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 田倉 由男

・・・雑巾縫いサロンについて・・・

《ふれあい部会から》

小学校で学校の清掃用に新学期に雑巾の持参を求められ、新年度直前には市内の100円ショップが雑巾売り切れとなり、お母さん達が対応に苦慮しているとの事。

そこでふれあい部会では①まずはフェイスタオルの寄付を募り②2月11日(火・祝)13:30~17:00「雑巾縫いサロン」を開催致します。

場所は久木会館、茶菓付き、当該時間内であれば好きな時間に適宜参加できるとの事、井戸端会議をしながら楽しく実施できればとの事です。

尚雑巾販売日は2月28日(金)17時久木会館で

「みんなの食堂」に合わせ販売する予定です。

これを機に、頭の痛い雑巾の調達と楽しい交流の機会のため、多くの方の参加をお願いします。



令和2年1月度役員会

令和2年1月度の役員会は休会となりましたので、記載事項はありません。

事務局からの連絡

1. 令和2年度総会の予告

1月20日に開催された住民協連絡会で、令和2年度住民協総会の開催日を4月25日、午後2時から開催することを内定しました。2月度役員会で審議したのち、3月度会報で詳細を改めてご連絡します。

2. 12月度みんなの食堂の報告

12月20日(金)17:00~18:30、差引残高¥8,507のマイナス。今回は地域のバイオリン教室のミニコンサートがあり大いに盛り上がりました。
参加者137名(子ども61、大人49、スタッフ27)、収支:収入¥28,000、支出:36,507、

部会報告

拠点部会：拠点部会を基に新しい部会の立ち上げについて・・・石井達郎（事務局長）

昨年4月より9か月間毎月久木会館活性化プロジェクトを立ち上げ、会館の活性化、収益向上、運営基盤の強化等を目的に拠点部会、活性化PTのメンバーにより検討、討議が行われ多くの事柄が実行された。対象項目は大きな制度上の変更から、レイアウト変更、ラグビーワールドカップの会館でのパブリックビューイングの開催等のイベント企画、会館運営上の管理強化、例えば日ごと取り扱い現金管理の強化等対象項目は30項目以上に及んだ。

会館活性化プロジェクトの目玉の一つは会館の利用頻度が上がり、幅広く使用希望に応えるべく昨年12月より会館の利用規約を改定し使用時間単位を従来の3時間から2時間に変更、並行して会館の予約方法の見直し、会館の利用キャンセル時の運用の厳格化とキャンセル料の効率的な徴収、会館の施設別利用料金を変更した。

結果、昨年12月単月の会館使用件数は前年同月49件から68件の増加、単月会館収益でも前年同月比40%増という報告を受けている。

減災部会報告 金子春夫

当初からの理念である「互近助」、すなわち近所の方々が協力して災害時や平常時に助け合って生活する環境づくり、を目標に活動してきました。

それには、自分が住んでいる「地域を知る」、そして「周りの人を知る」ことが重要です。地域の減災地図作成は、地域を知る事に欠かせないと考えました。

久小校区の地域を分割し、その地域に住んでいる方々と一緒に歩いて、災害ごとに避難する場

所・方法を見てまわり、地域の減災地図を作りました。4月頃皆さんに配布する予定です。地図には標高を色別に表示したり、AEDの設置場所、津波が起こった時の避難場所、医療施設、災害時指定戸等々、災害時に必要な情報を入れ込んであります。お手元に届いたら、ぜひ詳細をご覧くださいと思います。

昨年、台風15・19号が大きな被害をもたらしました。今年はどうなるのでしょうか？避難所が開設されても、遠くに行くことができない、危険なので行かないと考える方が多いと思

います。そのような時「周りの人を知る」ことが重要です。特に一人住まいや高齢者だけのお宅は、災害が収まるまで心細く我慢して過ごすようになってしまいます。ご近所の声掛けがあれば落ち込んだ気持ちが、前向きになるのではないかと考えます。

ふれあい部会報告 龍村敦子

【雑巾縫いサロンを開くことになった長いお話】

2月11日火、建国記念日に久木会館で「雑巾縫いサロン」を開くことになりました。これには長——いお話があるのですが、その長——いお話の核の部分だけ伝えます。部会が取り組み始めた有償サービスに関連して山の根自治会が先行して65歳以上を対象にアンケート調査をしました。その質問の一つに「私ができること」という項目があり、「買い物」「草刈」「掃除」などいくつかの回答の中に一つだけというか一人だけというか「雑巾縫い」というのがあったのです。これがなぜか際立って輝いて見えました。

「雑巾縫いのサロン」をやってみたらどうだろう。部会の女性たちは誰が口火を切ったかすら覚えがないまま、大盛り上がりで瞬時に開催を決定しました。さらに決定の裏付けになった

この地図を基に実際に自分の足で歩いて、自分の住む地域の環境を確認し、災害時にどんな行動をとったらよいかを考えていきたいと思います。

減災部会では、ご自分の地域を歩いてみるこの機会づくりを考えていきます。

のは小学校では学期はじめに子どもたちが雑巾を2枚持って行かねばならないのです。忙しい母親にとって雑巾調達は難題だということです。正月休み明けの学期はじめの前日には100均の雑巾の棚から商品が消えた、つまりは売り切れとなったそうで。この事情の中、「みんなの食堂」で雑巾を売ったらさぞかし喜ばれるだろう、やる気満々であります。（1枚30円で売ってもらう）雑巾にするためのフェイスタオルは各自治会町内会への周知の結果、そこそこ集まりました。しかし・・・一抹の不安がよぎっています。材料はそろったものの、サロンとして成立するだけの縫子？が集まるのだろうか？手を動かしながら曲がったの、糸が通せないなどワイワイ楽しい茶話会が始まるだろうか？お誘いはするものの、確約まではいっていない、当日まで読めないのです。新年早々凶と出るか吉と出るか・・・結果報告をお楽しみに。

トピックス

季節通りと季節外れ・・・◆今年の冬は、はや1月末というのに霜が降りず、氷が張らず、雪が降らない暖冬が続いています。そのせいか蟻が活動し、秋の花がまだ咲いているといった、“これで冬か”といえるようなことが観察されます。初詣、餅つき、どんど焼きと人間世界の季節感は維持されていますが、自然界では季節感に変化が表れているようです。

季節外れの一つ、「真冬に咲いているバラ」を紹介しましょう。

（尚、次月に「季節通りの北からの訪問者」を紹介する予定です。）